

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	これからの学校教育に関する調査研究事業	所管	教育委員会学校教育部 教育センター TEL 2923-2396
-----	---------------------	----	------------------------------------

事業の目的 (何の為に 行うか)	子ども達の教育上の課題を明らかにするとともに解決に向けて具体的な提言を行う。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	所沢市内幼稚園・小学校・中学校教職員及び保育園保育士	対象とした数	2,363	人
		実際に 利用した数	2,363	人

活動の内容	(何をしたか) 1、テーマに応じて市立保育園・幼稚園・小学校・中学校教員から委員を委嘱する。 2、テーマに沿って実態、課題を明らかにし、授業実践などを通じて改善策を明らかにする。 3、実態や成果をまとめ、市立保育園・幼稚園・小学校・中学校及び全国の教育研究所等に研究冊子を配布する。 4、成果伝達の授業研修会および伝達研修会を実施する。								
活動実績	項目名	協議会開催	18	項目名	冊子配布数	200	項目名	単位	単位
			----- 単位 回			----- 単位 冊			

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	220	220	5,575	16.4

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	研究発表会参加者アンケート	研究発表会参加者回答「大変よかった」「よかった」の回答数/アンケート回答者数	90	100	111.1
			----- 単位 %	----- 単位 %	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []			
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止			
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了			

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 [] 終了				
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	130500	TEL	2923-2396
事業コード	130502	これからの学校教育に関する調査研究事業		教育委員会学校教育部 教育センター		
開始年度	平成 13 年度	→	終了年度	平成 年度		
グループ		研修・研究				

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	地方自治法							
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び人・文化をはぐくむまち	施策	2節 学校教育	中柱	1 教育内容の充実	小柱	(1)確かな学力の定着
・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 6 位		・実施計画における位置づけ…		H19	<input type="radio"/>	H20	<input type="radio"/>		
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
事業開始の背景		今日の子供達には、学力低下、いじめや不登校、学校外での社会体験不足など、様々な課題が山積している。自ら学び自ら考えなどの生きる力を育成するためには、子ども達の実態や課題を明らかにし、具体的な対応策を提言する研究が必要であるためはじめられた。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)											
	子ども達の教育上の課題を明らかにするとともに解決に向けて具体的な提言を行う。											
	対象(誰を、何を対象としているのか)					利用数の考え方						
	所沢市内幼稚園・小学校・中学校教職員及び保育園保育士					所沢市立保育園・幼稚園・小学校・中学校教員						
対象数		単位		平成 18 年度	1,270	人	利用数		平成 18 年度		1,289	人
				平成 19 年度	2,363	人			平成 19 年度		2,363	人
事業の具体的な内容及び実施方法												
1. テーマに応じて市立保育園・幼稚園・小学校・中学校教員から委員を委嘱する。 2. テーマに沿って実態、課題を明らかにし、授業実践などを通じて改善策を明らかにする。 3. 実態や成果をまとめ、市立保育園・幼稚園・小学校・中学校及び全国の教育研究所等に研究冊子を配布する。 4. 成果伝達の授業研修会および伝達研修会を実施する。												

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>											
	総合評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])											
	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)											
	予算 <input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了											
平成19年度中に改善した点												
子どもたちの生活実態の把握を科学的に行うため、大学研究室との連携を図った。												

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		220	220	220	
	決 算 (見込み含む)		220	220		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.57 人	5,244	0.57 人	5,355
	公債費					
	事業費合計		5,464	5,575		
	財源内訳	一般財源		5,464	5,575	220
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)			16.2	16.4		
利用数一単位あたり(単位:円)			4,238.9	2,359.1		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	協議会開催	協議会を開催した回数	回	33	18	20
		冊子配布数	冊子配布数	冊	200	200	200
	成果分析	研究発表会参加者アンケート	研究発表会参加者回答「大変よかった」「よかった」の回答数/アンケート回答者数	%	目標値 100	90	90
				実績 100	100		実績値の拡大を図る1
				% 達成率 100.0	111.1		実績値の縮小を図る2 1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体 見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	所沢市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無 見直しの必要性
	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	幼児期、小学校の低学年、中学年、高学年、中学校という区切りと家庭での生活実態が異なっていることから、その事を把握した上で学校と家庭の連携がキヤラムの作成が必要			
評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
平成20年度における目標設定	幼稚園、保育園、学校と家庭との連携がキヤラムの作成を図	連携がキヤラムに基づく授業実践を公開する	平成20年12月	
平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由				
現状評価から、事業の目的、実施方法、必要性ともに適切かつ不可欠と判断される。				
評価日		平成20年5月2日	記入者職氏名 教育センター所長・永井博彦	

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性											
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了										
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了										
	評価理由	評価日										
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業				
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業				
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業					
	評価理由	評価日										

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し				計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り				計画コード	1141
	基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします					
	主要課題	1子どもたちの知識・能力の育成					
施策の方向	4教育環境の充実						